

# 短時間の撮影で最小限の被ばく

(息止めの時間の短縮)

## 患者さまの負担軽減と高画質のデータ取得の両立を可能

1回転の撮影で160mm幅(従来比8倍)と広範囲のデータ取得が可能となりました。また、最新画像再構成のAI技術の搭載で画像処理が早くなるだけでなく、より繊細でクリアな画質と低被ばくを両立した装置です。

装置の特徴

1

### ① 検査時間の大幅な短縮

頭部や心臓の撮影は**1秒**、胸部(肺)は**約2秒**で撮影可能。

静止困難な方や息止めが続かない方に対しても、負担なく撮影が可能。

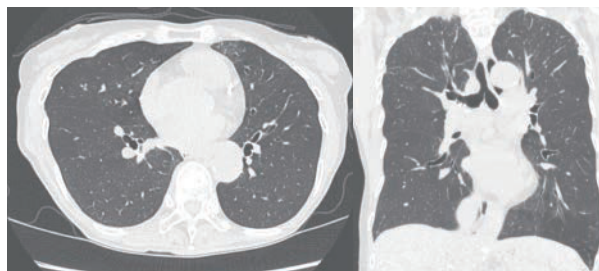
### ② 被ばくの大幅な低減

低線量胸部CT撮影では**胸部レントゲン撮影2枚程度(0.1mSv前後)**の低被ばく線量で撮影可能。



#### 心臓 造影CTの特徴

撮影時間は1心拍(1秒)で検査を終える事が可能となり、画像の安定性が向上し、**心拍を下げる薬の服用もなく**患者さまの負担が軽減されます。



低線量 胸部CT撮影

胸部レントゲン撮影2枚程度(0.1mSv前後)

装置の特徴

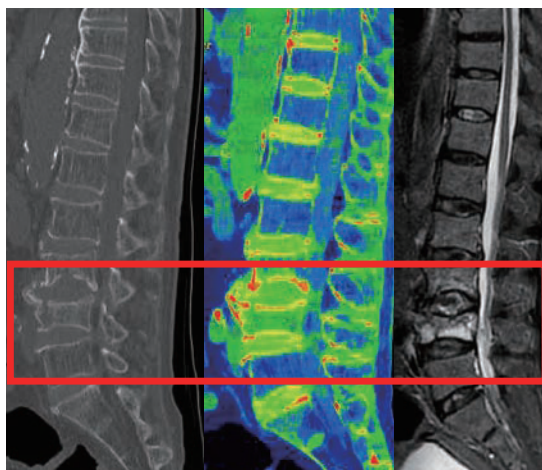
2

**Dual Energy撮影※により造影剤の減量撮影や早期の骨折診断も可能。また金属アーチファクト抑制機能と合わせ人工関節などの術後評価も可能。**

※Dual Energy撮影とは2種類の異なる管電圧を用いる撮影



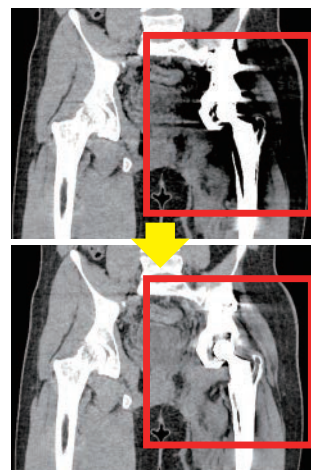
Dual Energy (造影剤50%減量)



通常CT

Dual Energy

MRI



金属アーチファクト抑制機能

上記の通り、より患者さまに負担の少ない優しい検査が可能となりました。